

頑丈なタンクのような構造：あらゆる課題に対応するために開発された業界屈指のインフラソリューション

安部日鋼工業は、日本で頻発する地震に耐えうる独自の技術を駆使し、もっとも過酷な自然環境にも耐えうる燃料タンク、貯水タンクや下水処理タンクを築造しています。

安部日鋼工業は、創業以来70年以上にわたり、日本特有の地形や頻発する地震に対応して、高い液圧や厳しい環境条件に耐えうる最先端のインフラソリューションを提供してきました。

同社は長い歳月をかけて研究開発に力を注ぎ、業界をリードする技術と工法を開発してきました。安部日鋼工業のプレストレスト・コンクリートの技術は、津波に耐えられる「津波対応型燃料タンク」を生み出しました。それは、津波や漂流物の衝突に耐えられ、地震・津波を受けても元の形に戻れる技術です。

同社は、最先端のソリューションを武器に海外市場に進出し、エジプト、スリランカ、バングラデシュなどで25件以上の海外プロジェクトを完成させています。安部日鋼工業の井手口哲朗社長は、「スリランカに初めてPCタンクを建設したことで、当社の技術はスリランカのナショナルスタンダードになりました」と胸を張ります。安部日鋼工業は、不測の事態に直面しても、与えられたプロジェクトを遂行することを責務としており、近隣諸国の企業と一線を画すこだわりの姿勢を示しています。

安部日鋼工業の独自技術は、暑く乾燥したエジプトから日本の凍てつく北海道まで、さまざまな自然環境に対応できます。井手口氏は、独自技術として長年培ってきたタンク建設の実績を生かして、さらなる海外展開を目指しています。

同社の革新的な取り組みは、工期とコストを削減するだけでなく、各国が持続可能な目標を達成するのにも役立ちます。安部日鋼工業の専門技術は、プレキャスト式の小規模下水処理システムの構築も可能にします。井手口氏は、「私たちの技術は、遠隔地に十分な水を供給するだけでなく、下水処理にも有効なソリューションを提供することができます。」そして、「私たちの使命は、一人でも多くの人々が清潔で安全な生活を送れるように、水を確保することです。」と語りました。